

# 令和5年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 3 活力と魅力あふれるまちの創造

<b>主要課題</b>	No. 35	都市交流の促進
-------------	--------	---------

<b>● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●</b>		主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。
4年後の目指す姿	本区とゆかりがある国内外の都市と、文化・観光等の様々な分野での住民レベルの活発な交流が行われているとともに、区民と外国人住民等との幅広い交流が進み、国際理解が深まっています。	
計画期間の方向性	○海外都市との交流による国際理解の促進 区民の国際理解を促進するため、区民が海外都市の文化等に触れることができる交流機会の充実を図るとともに、本区とゆかりのある海外都市等との新たな交流について、調査・研究を進めます。  ○文化・観光等の交流事業の拡充 協定締結自治体等との相互の発展や住民レベルでの活発な交流が行われるよう、本区とゆかりや共通点がある自治体と、文化・観光振興を軸とした交流事業等を継続的に実施するとともに、区民等の主体的な交流活動を支援します。	

## 0 昨年度の施策の方向性（昨年度の点検における「4 今後どのように進めていくか」）

国際交流については、渡航制限の状況に応じ、円滑に再開できるよう準備を進めるとともに、再開まではオンラインの活用等により事業を実施します。

国内交流については、国内交流自治体食材購入費補助及び食めぐりスタンプラリーを継続実施します。また、13の交流自治体と対面やオンラインの活用により連携を深めるとともに、共催・後援を含め各種事業の充実や新たな事業を検討するなど、交流自治体同士との更なる連携を目指します。また、令和5年度は盛岡市との友好都市協定締結5年目に当たるため、関係がより充実したものとなるよう事業を検討していきます。

交流事業は相互関係が重要であり、交流先と連携を図り、きめ細かく調整し、相互に有益となる事業を着実に進めていきます。山村体験交流事業の継続実施により区民の交流活動を促進するとともに、交流事業の拠点となるやまびこ荘の利用促進に向けて、広く区民等に周知していきます。

事業費（令和4年度） 上段：実績 下段：当初予算

<b>1 どのような事業で・何をしたか（実績）</b>		戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。							
事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割						事業費(千円)
125	<b>国際交流・海外都市交流事業</b>	アカデミー推進課	区民と外国人住民との相互理解を深め、区民の国際理解を促進する。						6,651千円 (10,348千円)
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 国際交流フェスタ来場者数	人	1,100	中止	中止	中止	1,300		
	② 国際交流事業及び留学生との交流事業参加者数	人	602	758	1,296	685	372		
	③ 訪問団等の派遣・受入れ実施回数	回	4	11	中止	—	—		
R3(2021)	国際交流フェスタをWEBで開催しました（閲覧数:6,680）。								
R4(2022)	カイザースラウテルン市とのホームステイ代替事業をオンラインで開催しました（参加:11人）。								
126	<b>国内交流事業</b>	アカデミー推進課	文化・観光分野等における自治体間の交流を充実するとともに、住民レベルの交流を促進する。						2,557千円 (3,983千円)
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 協定締結自治体等と連携した交流事業実施件数	件	54	57	25	39	88		
	② 国内交流・連携事業補助事業実施件数	件	7	10	6	0	5		
	③ 国内交流自治体食材購入費補助事業実施件数	件	—	10	21	12	16		
127	<b>文の京文化発信プロジェクト</b>	アカデミー推進課	住民相互の交流を図り、本区の魅力の再発見やその発信につなげる。						1,319千円 (3,119千円)
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 啄木学級 文の京講座参加者数	人	282	333	中止	76	102		
	② 石見神楽参加者数	人	641	454	中止	中止	中止		
	③ かなざわ講座参加者数	人	82	80	中止	55	73		
	R2(2020)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、文化発信プロジェクトとして行う関係自治体との協働事業は、全て中止しましたが、かなざわ講座については、代替事業として、講師の金沢能楽美術館学芸員による加賀宝生についての講演動画を作成し、Youtubeで配信しました。							
R3(2021)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、石見神楽公演を中止しました。啄木学級、かなざわ講座は募集定員を縮小して実施しました。								
R4(2022)	盛岡さんさ踊りワークショップを3年ぶりに開催し、87人の応募がありました。								

128	山村体験交流事業	区民課	交流事業による住民同士の交流を促進する。					7,272千円 (3,728千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 山村体験交流事業数		件	20	20	13	8	20	
	② 山村体験交流事業参加者数		件	464	419	196	134	444	

●特記事項（実績の補足）

山村体験交流事業は、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部事業が中止となりましたが、4年度は再開し、年間を通して参加者数が回復してきました。

2 現総合戦略において、社会ではどのような動きがあったか（社会環境等の変化）

人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。

チェック	チェック項目
無	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）

新型コロナウイルス感染症の影響により、海外渡航の禁止や国内の移動制限があり、対面での交流事業の実施は厳しい状況でしたが、今後は移動制限が緩和されたことに伴い徐々に交流の回復がみられることが予想されます。  
原油価格・物価高騰により、山村体験交流事業を主催する四季の郷薬師温泉やまびこ荘の光熱費・食材仕入費が上昇し、事業活動に影響を及ぼしました。

3 現総合戦略における成果や課題は何か（点検・分析）

1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じていないか」などを点検・分析します。

○海外都市との交流による国際理解の促進

新型コロナウイルス感染症の影響により、海外都市との交流事業が制限される中、感染症対策を徹底した上で、やさしい日本語を使ったオンライン交流会及びベナン共和国講座等の各種講座事業を実施するとともに、令和4年度には、4年振りに国際交流フェスタを対面で実施し、区民が海外都市の文化等に触れることができる交流機会を創出し、国際理解の促進に努めました。  
姉妹都市カイザースラウテルン市と連携したホームステイ生徒交換事業については、オンラインによる交流会を実施しコロナ禍の学校生活などの情報交換を行いました。また、5年度からホームステイの受入れを再開し、対面での交流を段階的に再開します。  
今後は、海外都市との直接的な交流事業の円滑な再開に向けて、渡航制限等の情報を収集し、事業のあり方を検討するとともに、オンラインでの交流事業の併用方法を検討しながら、現在の環境下において、最も有効な交流方法を見極め、引き続き国際理解の促進を図ります。

○文化・観光等の交流事業の拡充

コロナ禍で数年間事業を中止していましたが、協定締結等自治体とのオンラインミーティングを実施し、自治体同士の交流を深めるとともに、国内交流自治体食材購入費補助事業を通して、区内事業所と協定締結等自治体の交流につなげることができました。さらに住民レベルでの活発な交流につなげられるよう事業のあり方を検討し、順次事業の再開に向けて準備を進めています。  
山村体験交流事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施を中止せざるを得ない状況が続きましたが、継続的な実施を通して住民レベルの交流が図られています。今後も新型コロナウイルス感染症の状況等を考慮しながら、山村体験交流事業を実施していきます。

●全国自治体との交流事業件数

		H30	R1	2	3	4
事業内容	物産展	25	26	1	4	36
	自治体PR	29	8	26	12	11
	ツアー等	5	7	2	1	1
	学校事業	3	1	1	4	5
	文化事業	14	13	4	5	13
	産業振興	2	9	11	10	12
	災害時応援	3	1	1	0	0
	その他	10	11	13	17	65

(単位:件)

●区が協定等を締結していることを知っている自治体

自治体名	%	自治体名	%
新潟県魚沼市	12.0	熊本県	2.0
東京都新宿区	3.5	広島県福山市	1.7
島根県津和野町	3.1	熊本県上天草市	1.3
岩手県盛岡市	2.9	山梨県甲州市	1.1
熊本県熊本市	2.7	福岡県北九州市	0.4
石川県金沢市	2.5	いずれも知らない	77.5
茨城県石岡市	2.3	無回答	4.0

資料:アカデミー推進計画に関する実態調査

#### 4 次期総合計画において、どのように進めていくか（展開）

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、令和6年度から9年度までの次期総合計画の計画期間における戦略としての進め方を記しています。

国際交流については、姉妹都市等とオンラインを用いた交流を実施しながら、対面での交流が円滑に再開できるように準備をしていきます。また、交流都市等に係る文化講座等を実施し、区民が国際文化に触れる機会を創出します。国内交流については、友好都市交流フェスタへの出店等各種交流事業を実施し、より自治体間の関係を強固にしていきます。また、国内交流自治体食材購入費補助事業等を通じて、区民の交流自治体の魅力発信及び認知度向上を図るとともに、区民レベルでの交流促進につなげていきます。山村体験交流事業についても、今後も継続して実施し、やまびこ荘の利用促進に取り組みながら、様々な体験を通して住民レベルの交流を図っていきます。

#### 5 6年度、事業をどうするか（事業の見直し）

主要課題に紐づけられている個々の計画事業の6年度の検討の方向性を「継続」「レベルアップ」「見直し・縮小」「事業終了」「計画変更」で記します。

事業番号	計画事業名	所管課	次年度の方向性
125	国際交流・海外都市交流事業	アカデミー推進課	レベルアップ
126	国内交流事業	アカデミー推進課	レベルアップ
127	文の京文化発信プロジェクト	アカデミー推進課	継続
128	山村体験交流事業	区民課	継続

#### ●まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標(KPI)

指標	単位	2019	2020	2021	2022	2023	2023（目標）
全国自治体との交流件数	件	76	135	188	331		395
	単年度実績	76	59	53	143		